

各 位

平成 17 年 10 月 7 日

会 社 名 株式会社 アポロ・インベストメント
代表者の
役職氏名 代表取締役社長 畑 伊三己
(コード番号 8206 大証 2 部)
問合せ先 取締役 (財務・経理担当)
角田 良夫
Tel (03) 3580-1231 (東京)

平成 18 年 2 月期通期・中間期業績予想の修正について

平成 18 年 2 月期通期 (平成 17 年 3 月 1 日～平成 18 年 2 月 28 日)・中間期 (平成 17 年 3 月 1 日～平成 17 年 8 月 31 日) の業績予想について、平成 17 年 4 月 8 日付当社「決算短信」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結業績

(1) 連結通期業績予想 (平成 17 年 3 月 1 日～平成 18 年 2 月 28 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 17 年 4 月 8 日発表)	8,670	450	240
今回修正予想 (B)	13,270	1,080	515
増減額 (B - A)	4,600	630	275
増減率 (%) (B - A) / (A)	53.0%	140.0%	114.5%
前期(平成 17 年 2 月期) 実績	5,900	△237	△250

(2) 修正の理由

- ① 株式会社ダイヤモンドエージェンシー及び株式会社ディーアンドアール・インテグレイツを組み入れた数字で予想しております。
- ② 上場株式の実現利益を保守的に見積もった額で予想しております。
- ③ M&A 実現においては法的効力が発生次第、金融庁の E D I N E T による臨時報告書開示および任意開示を行いますので、ご参照ください。

(3) 連結中間業績予想の修正 (平成17年3月1日～平成17年8月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A) (平成17年4月8日発表)	4,350	218	108
今回修正予想 (B)	4,493	147	78
増減額 (B - A)	143	△71	△30
増減率 (%) (B - A) / (A)	3.2%	△32.5%	△27.7%
(ご参考) 前中間期 (平成17年2月期) 実績	2,998	△52	△40

(4) 修正の理由

経常収益

- ① すべての上場株式の未実現利益をPL上取り込まず、BSの有価証券評価差額金に取り込んだことにより、当初の予想数値より若干の差異がでております。
- ② 株式会社ダイヤモンドエージェンシーの株式取得事務が終了しておりませんので、当中間連結会計期間に組み入れておりません。
- ③ 株式会社ディーアンドアール・インテグレイツは、BS上取込み、PL上は取込んでおりません。

2. 個別業績

(1) 個別通期業績予想 (平成17年3月1日～平成18年2月28日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成17年4月8日発表)	180	0	△1
今回修正予想 (B)	630	480	240
増減額 (B - A)	450	480	241
増減率 (%) (B - A) / (A)	250.0%	—	—
前期(平成17年2月期) 実績	97	△71	△57

(2) 修正理由

上場株式の売却実現利益を保守的に見積もった額で予想しております。

(3) 個別中間業績予想の修正 (平成17年3月1日～平成17年8月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A) (平成17年4月8日発表)	90	0	0
今回修正予想 (B)	116	△20	△28
増減額 (B - A)	26	△20	△28
増減率 (%) (B - A) / (A)	28.8%	—	—
(ご参考) 前中間期(平成17年2月期) 実績	62	△24	△10

(4) 修正理由

すべての上場株式の未実現利益をPL上取り込まず、BSの有価証券評価差額金に取り込んだことにより、当初の予想数値より若干の差異がでております。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点において得られた情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、業況の変化等のさまざまな要因により乖離する結果となりうることをご承知おきください。

以上